

東京土建一般労働組合  
東京都新宿区北新宿1-8-16  
電話03 (5332) 3971 (代表)  
FAX03 (5332) 3972  
ホームページ  
http://www.tokyo-doken.or.jp/

定価 五十円  
(年間購読料 千八百円)  
購読料は組合費のなかに含まれています



印刷部数 106,400部 発行人・編集人 吉川 豊

働き方改革をチャンスとして  
特定社労士の北村さんは、この機会一人が定着する会社にする立場で前向きに受け止めてと呼びかけています。2号に渡ってお伝えする講演録の前編となります。  
(関連記事3面)

# 「拡大と運動参加」要請 対話重ねる事業所昼訪問

中間を増やす秋の拡大月間のなかで、攻勢的な対話が行なわれています。この月間は組織つくりとも、明日に向けた明るい建設産業つくりでもあります。事業所や未加入者とも対話を重ねる、各支部の取り組みをレポートします。(6面にも関連記事)

常任執行委員の原田陽弘さんの「講習」「相談会」などを中心に2班をつくり、9月12日の朝10時、組合内事業所訪問に繰り出しました。事務所訪問に繰り出しました。事前の打ち合わせでは支部独自の「講習」「相談会」などの案内を中心に対話材料を整え、切り口はインボイス、アスベスト、働き方改革です。午前中だけで池袋駅周辺の

## 秋の拡大月間・前半 総訪問総対話で明日の建設産業つくり



昼間の事業所訪問で事業主と対話する豊島支部常任執行委員の原田さん(左)

内装リフォーム、構造計算を行なう設計、公共工事も手掛ける工務店など、事業所を4軒訪問。どこも組合と聞けばこころよくドアを開け、対話に応じてくれました。

### 自分の言葉で呼びかけ

原田さんはこの日が3回目の事業所訪問で、対話もスムーズです。自身が石綿特別教育の講師なので、アスベスト講習に関する質問に対しても直接答え、役員として組合のメリットを語り、自分の言葉で「仲間の紹介」を呼びかけました。そして、対話の最後には支

### 「秋がカギになる」 建デポで業者に声かけ

今年も3分の2が過ぎ、秋の拡大月間が始まる。年間増勢による強



月6回、行動日に合わせての「建デポ・立川栄町店」での店頭宣伝

大な組織つくりを目指す多摩西部支部では、6〜8月を準備期間と位置づけて夏の拡大を取り組み、昨年の55人から86人へと大幅に成果を伸ばすことが出来ました。

統一行動初日の9月7日、建デポ立川栄町店には常任の栗野さん、書記の松井さんと高田さんの姿が。賃金対策部と連携を図って月間中に6回、18時から1時間ほど、仕

8月30日、首都圏の建設組合が中心となり省庁交渉が行なわれました。建設アクション実行委員会の主催によるものです。会場は衆議院第2議員会館・多目的会議室。全体で13団体139人(東京土建は64人)が参加。交渉先は第一部が経済産業省・中小企業庁、第二部が財務省・国税庁、第三部がデジタル庁でした。第一部では、止まらないインボイス制度の中止、消

### 三省庁ゼロ回答

切実な現状訴えるも  
この日の切実な訴えに対して、各省庁から真摯な回答はありませんでした。これに対し参加者から怒りの声があがり、第二部では、政府が10月1日導入しようとしているインボイス制度の中止、消

部社会保障対策部長としてのお願いも忘れません。「土建国保の予算要求ハガキ、書いていますか」と言葉に、事業所の社長たちは「やっていません」「わかってますよ」などと応答。仲間を増やすことと合わせて、事業所の運動参加を呼びかけました。この日は好意的な反応が目立ちました。若手コンクリートを足を出す豊島支部。9月、10月にも連続した昼の拡大行動を計画して、目標の達成を目指します。

従業員や外注を15人ほど抱える電気工事会社の社長さんは、コロナ禍でわずかな蓄えもなく、材料費も倍になって大変、と厳しい現状を吐露。開始が迫るインボイスについては「ただの増税」と怒りを隠さないようでした。

宣伝後は各分会で統一行動。この日は支部の木下組織部長と清水委員長が、砂川分会とけやき分会へ撤訪問。木下部長は、「秋がカギになると思う。オルグ役員で分会と話をし目標をやり切りたい」。清水委員長は、「昨年は11年連続実増を惜しくも逃している。今年は新たな気持ちで4千人支部を目指したい」と語ってくれました。

■G20首脳会議が10日に閉幕。途上国の食料・債務危機、気候対策など世界的課題について議論され、首脳宣言が採択されたが、ロシアによるウクライナ侵略への非難のトーンが弱まり、内容不十分の「妥協の産物」だとする声も多い。開催はインドのニューデリーであった。

■議長国として積極的に宣言とりまとめに動いたインド。巧みに覇権国との距離感を保ちながら、確実に存在感を増すグローバルウスの代弁者となりつつある。その人口が14億を超え、世界最大となると発表されたのはこの6月だったか。最近月面着陸を果たした4大国の一つでもある。

■世界のIT業界では、グーグルやマイクロソフト、ユニクロなど、インド出身のトップが次々と誕生しており、背景としてその実践的な数学教育も知られるところだ。昨年10月に第79代イギリス首相に就任したスナク首相もインド系だ。

■迷える多感な若者が旅先に選ぶ国というイメージが強かった。かつては、物質的にも成功を極めたヒールズがその精神性に惹かれ接近。「アクロス・ザ・ユニバース」などの作品づくりに影響を与えた。近年その関係を描く映像や書籍が多く出版されている。多極化する世界であらたな極となるのだろうか。

朝やけ  
議が10日に閉幕。途上国の食料・債務危機、気候対策など世界的課題について議論され、首脳宣言が採択されたが、ロシアによるウクライナ侵略への非難のトーンが弱まり、内容不十分の「妥協の産物」だとする声も多い。開催はインドのニューデリーであった。